

問題の着眼点・アプローチなど、難問に取り組むための「経験値」を積み上げます。

中学入試で合格を勝ち取るためには、今までに学習した定型問題から得た「経験」をもとに自分で問題の条件を整理・把握し、解法を見つけて得点する必要があります。

受験当日に最大の結果が出せるよう、6年生算数は各分野の応用・発展問題に取り組み、どのような着眼点で取り組みればよいか、どのような解き方・アプローチ方法があるのか、入試全体にどのような作戦で取り組みればよいかを学んでいきます。

学習例：◎入試本番に向けて磨く難問への対応力。

練習問題

●今までに得た知識を総動員させる問題を提供

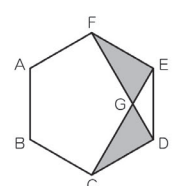
定型に近い形で出題される入試問題もありますが、やはり可否を分ける問題というものは、一般的な問題に学校独自のアレンジを加え、難易度を上昇させたものになります。それらに対応する力を養うため、Z会中学受験コース6年生算数では、実際の入試問題も使用しながら、応用力を鍛えるための鋭い切り口の良問に挑戦していきます。



練習問題

- 1 右の図のような正六角形ABCDEFの点DとF、点CとEを直線で結び、その交点をGとします。

(1) FG : GD を最も簡単な整数の比で答えなさい。

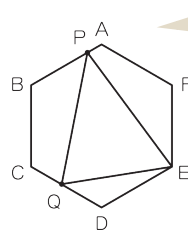


(2) かげをつけた部分の面積は正六角形ABCDEFの面積の何倍ですか。

▼カリキュラム履修期〔問題〕

練習問題

- 3 右の図の正六角形ABCDEFについて、AP : PB = 1 : 4、CQ : QD = 2 : 3です。三角形PQEと正六角形ABCDEFの面積比を最も簡単な整数の比で答えなさい。



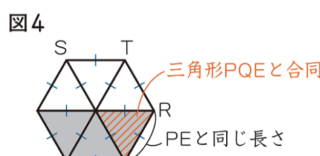
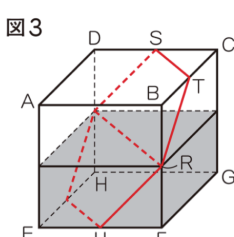
●各単元強化のカリキュラム履修期

2月号～7月号のカリキュラム履修期は毎月、それぞれの分野の総復習・強化特訓を行います。各単元について以前学習した内容を思い出す復習レベルの問題から、入試問題でも大問として出題されるような応用問題までを扱い、難関校の入試算数に立ち向かえるレベルに鍛え上げます。

▼合格力完成期〔解説〕

答えと考え方

- (2) 立方体を図3のように辺CB、辺CD、辺EF、辺EHのそれぞれ中点を通るように切断すると、2つの立体は形も大きさも同じになるので、体積は等しくなります。また、STとBD、RUとBEが平行なので、断面は三角形BDEと平行になります。この断面は各辺の中点を通っているから正六角形で、三角形BEFと三角形RUFの相似から、BE : RU = 2 : 1です。(1)で、BP : PE = 1 : 1だったから、(1)のPEとRUの長さは等しくなっています。
- (1)の三角形PQEは正三角形、図3の断面は正六角形だから、図4のように断面を考えることができます。三角形BDEの面積は三角形PQEの面積の4倍で、正六角形の面積は三角形PQEの面積の6倍だから、正六角形の面積は三角形BDEの面積の、 $6 \div 4 = 1.5$ (倍)です。



先生の解説を見る

●総合力強化の合格力完成期

8月号～1月号の合格力完成期では、毎月さまざまな分野のいろいろな発展問題に取り組みます。ときにはひとつの分野のかなり特化した難問を、またときには分野横断・分野融合型の「どのように解くか解き筋から探す必要がある」問題を出題します。

●算数の超難問集合「Z会からの挑戦状」

最難関レベルを受講された場合、算数を得意教科としており、さらに磨きをかけて入試当日大きなアドバンテージをとっておきたいお子さま、難問に果敢に挑戦する意欲あふれたお子さまへは、「Z会からの挑戦状」を毎月ご用意。超難問と呼ばれる難しい問題ばかりですが、解けたときの快感は格別です。着眼点や解き味が見事な入試問題なども紹介しており、解くごとに、解説を読むごとに、新たな発見があります。



●入試本番を見据えて取り組む「入試総合問題」

ある特定の分野ばかりを演習したり、一定レベルの問題ばかりを解いたりすると、入試1本のどこに力を入れてどこを後回しにするか、といった全体的な作戦、タイムマネジメント力が磨けません。合格力完成期に毎月用意した「入試総合問題」は、入試本番をイメージした出題形式となっており、時間をはかって解くことで、入試本番のリハーサルを行うことができます。講師の映像の中でも、この試験ではどのように臨むべきだったかという作戦の一例を解説します。

第6回



入試総合問題



入試総合問題は、実際の入試を受けるときと同じような気持ちで、時間をはかってやってみよう。今回は40分を目標として取り組んでみよう。

- 1 次の□にあてはまる数を書き入れなさい。

(1) $(52 + (28 - 13) \times 18) \div 14 = \square$

(2) $578.36 \div 21.9$ の商を整数で求めると、商は□、あまりは□です。

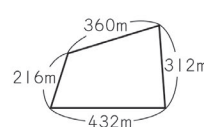
(3) $(\frac{2}{3} + \square) \times 25 - 19\frac{3}{4} = 8\frac{11}{12}$

- 2 次の問いに答えなさい。

(1) 学校から公園に行くのにAさんは15分、Bさんは12分かかります。AさんとBさんが学校を同時に出発して公園へ向かうと、出発してから8分後に、AさんとBさんは160mはなれたところにいました。このとき、学校から公園までの道のりは何mですか。

 m

(2) 右の図のような道に沿って木を植えています。木と木の間かくは同じで、道の曲がり角には必ず木を植えます。最も少ないときで木は何本必要ですか。


 本